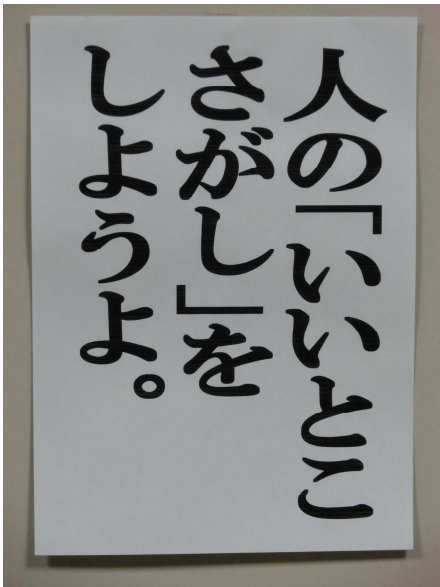


かがやけ あさひ

校長室だより 5月 2号



人の「いいところがし」をしようよ

いつも明るく元気な人は、人の「いいところ」を見つけるのも上手です。嫌なところがあると思う人に出会っても、少し見方を変えれば、短所が長所に変わります。人の「いいところ」に気づくようになると、相手を「ほめる」ことも楽しくなります。そして、なによりも自分自身の長所にも気づき、明るく元気に物事に取り組めるようになります。

ある重い病気で治療を受けている人の話です。「人には、いいところがあふれていると思うんですよ。嫌なところを見せているような人やつらそうな顔をしている人がいると、助けてあげなきゃって思ってしまう。そういう人には明るい言葉を返さずに『そんなことがあったんだ。大変でしたね。』と共感してあげるようにしています」と。それは、抗がん剤治療の激しい痛みを耐えていたとき、病室に入ってきた看護師さんから「ごめんなさいね、気づいてあげられなくて」と声をかけられ、気持ちがほどけていった経験があったからなのです。「苦しんでいる時に『あなたのことを見ているよ。』と言ってもらえるだけで、痛みさえ感じなくなるんだと思ったそうです。人の「いいところ」を探すには、まず自分自身が素直な心でいること。そして、相手の気持ちに寄り添うことなのですね。

明るく元気な人であるための秘訣のようにも思えます。

遠足が雨で延期になっても こんな事も出来たよ



28日はみんなが楽しみにしていた遠足でした。バスで行く計画をしていた5年生だけが実施しましたが、後の学年は延期に。実際延期にするかどうかの判断は大変難しかったです。天気予報の動向や遊ぶところの状況やお弁当を食べる場所等々を考えて、延期にしました。

そんな中で、6年生からの提案で、先日縦割り活動をしたことも生かし、体育館で昼間に1年生と一緒に弁当を食べようという弁当交流を急ぎょ行いました。1年生とふれあい、高学年としての自覚を持つことや、第1回の縦割り活動のふり返りを生かして行動していくというめあてで、主体的に取り組んでくれました。雨で延期になった遠足でしたが、このような工夫で有意義な時間を過ごすことが出来ましたよ。6年生と一緒に弁当を食べれて1年生もにこにこ顔、とても楽しそうでした。さすが6年生、ありがとう。

よく考えた行動だよ

2日は5年生だけが学校に残って。というのも5年生は、28日に遠足が実施出来て、2日は遠足の予備日でした。6年生がいない分、給食委員の5年生が自発的に給食室に来てくれて仕事をしていてくれました。とても素晴らしい行動ですね。



本当に大切なことは、物事を行うときの「心遣い」だと思います。他の人や社会の役に立ちたいという思いから、活動することはとても尊いことです。でも活動を続けているうちに、周囲からの評価を求めたり、手伝おうとしない人を責めたりする気持ちがわいてくることもあります。そんなとき、「人に役立つ」ということが自分の心に与えてくれる喜びを改めて見つめ直していききたいものです。誰かの役に立っているということを実感したとき、生き甲斐や自分自身の生きる値打ちを感じます。それは、周囲とのふれあいを喜ぶ気持ちが生まれてくるものですね。よいことを気持ちよく純粋に行動していききたいものです。さすが5年生、みんなの役に立ちましたよ。

